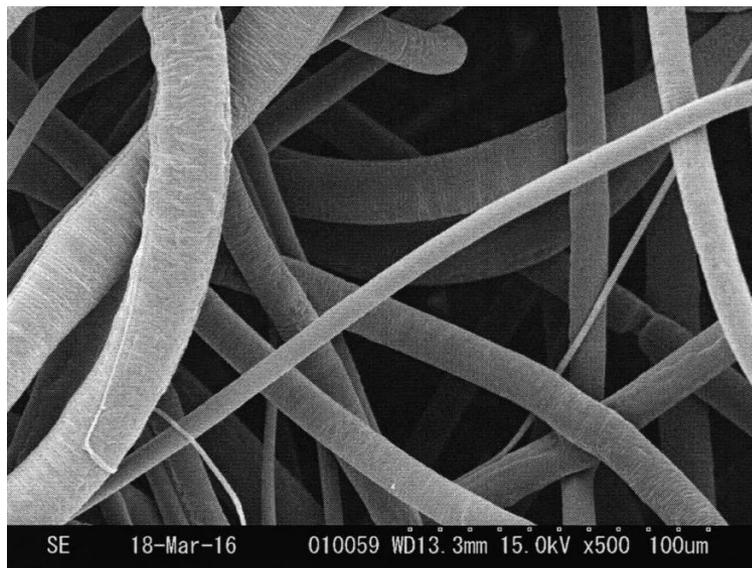


発明の名称	医療用繊維シートの製造方法		
出願人/権利人	日本毛織株式会社、アンビック株式会社	発明者	早乙女 俊樹、福田 泰弘、山本 剛士、岩城 史典
出願日	平成28年3月31日	出願番号	2016-071742
公開番号	2017-176676	特許番号	6685163
法的状態	登録中		

代表図



長繊維不織布の走査型電子顕微鏡
(SEM,日立走査型顕微鏡S-2600N,倍率500倍)

発明の概要

生体適合性があり、低密度で剛軟度の高い医療用繊維シート

特徴

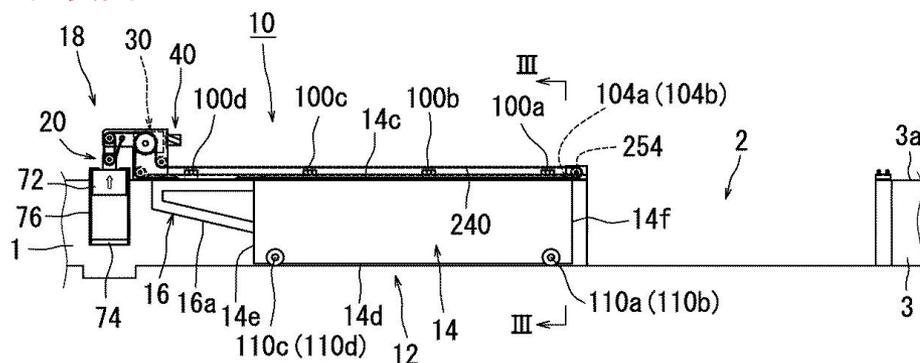
本発明の繊維シートは、生体適合性の長繊維不織布で作られている。長繊維の製造に用いたメルトブロー法は、無溶媒のポリマーを熔融紡糸し、繊維油剤などを用いずに乾式でダイレクトに不織布が得られるので衛生的である。長繊維は非分割繊維であり、熔融紡糸後に分割などの化学的処理・物理的処理はされていない。また、この不織布は熔融紡糸後に繊維を堆積させる時に繊維同士が互いに絡んで一体化されている。繊維を堆積させる際の捕集距離をかえることで、容易に密度を変化させられる。繊維の太い部分はへたれにくく、細い部分は液体吸収性を高くできるのが特徴である。

業務用機械

自動で安全に開閉できる防潮ゲート

発明の名称	防潮ゲート及び駆動機構		
出願人/権利人	株式会社丸島アクアシステム	発明者	半田 英明
出願日	平成28年9月6日	出願番号	2016-173735
公開番号	2018-40129	特許番号	6689167
法的状態	登録中		

代表図



- 1, 3 堤防 3a 堤防の上面
 2 堤防と堤防との間に形成されている開口部
 10 防潮ゲート 12 扉部
 14 横引き扉 14c 横引き扉の上面 14d 横引き扉の下面
 14e 横引き扉の左側 14f 横引き扉の右側 16 扉部支持部材
 16a 扉部支持部材の手前側面
 18 駆動部 20 伝達機構 30 係止機構 40 速度抑制機構
 72 主ウエイト 74 補助ウエイト 76 連結部材
 100a, 100b, 100c, 100d ガイド支持部材 104a, 104b ガイドローラ
 110a, 110b, 110c, 110d 車輪 240 扉用線状部材 254 定滑車

発明の概要

平常時において開門し、地震や台風や津波などの緊急時に閉門する防潮ゲート

特徴

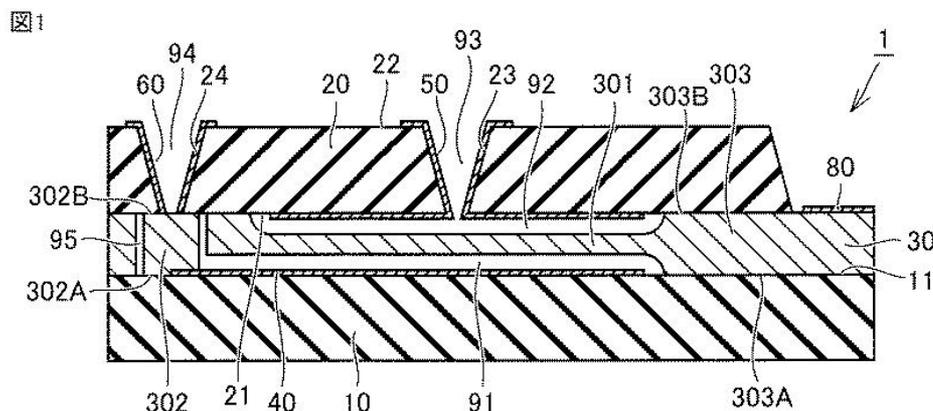
圧縮ガスなど特別な設備も必要なく、維持管理が簡易な防潮ゲートである。扉部の閉鎖動作開始時点は、大きな駆動力で扉部を駆動でき、扉部が動き出した後は、駆動力を減衰させながら扉部を駆動する仕組みである。扉部が長期間全開状態で待機し、油脂の固着により大きな静止摩擦力が発生し抵抗が増大した場合でも、扉部の閉鎖動作開始時点は、確実に閉鎖動作を開始でき、扉部の閉鎖動作開始後においては、扉部の閉鎖速度を所定速度以下に抑え、扉部が安全な速度を保って閉鎖動作を続けるため、扉部の機構に損傷がない。

関連分野

建設・土木

発明の名称	圧力センサ		
出願人/権利人	株式会社山本電機製作所	発明者	安保 充、戸津 健太郎、藤本 諭、西澤 充智、日下 和彦
出願日	平成28年11月4日	出願番号	2016-216066
公開番号	2018-72287	特許番号	6687197
法的状態	登録中		

代表図



1 圧力センサ、10 第1絶縁層、11 主面、20 第2絶縁層、21 主面、22 主面、23 壁面、24 壁面、30 導電層、301 ダイヤフラム部、302 アイランド部、302A 端面、302B 端面、303 支持部、303A 端面、303B 端面、40 第1検出電極部、50 第2検出電極部、60 引き出し電極部、80 電極部、91 基準圧力空間、92 測定圧力空間、93 第1貫通孔、94 第2貫通孔、95 空間

発明の概要

低コストで検出精度を向上させ、導通不良の発生を抑制できる圧力センサ

特徴

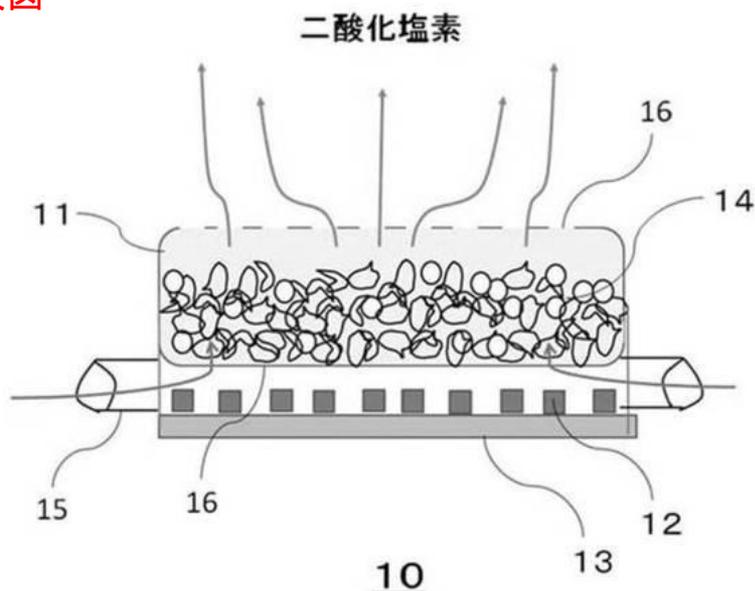
本発明の圧力センサは、第1絶縁層とダイヤフラム部との間に基準圧力空間を形成している。そのため、第1絶縁層とダイヤフラム部とに取り囲まれた閉鎖空間が形成され、基準圧を確実に一定に保てる。その結果、圧力センサの検出精度を向上させられる。また、導電層が厚み方向に貫通する環状の空間に取り囲まれたアイランド部の端部は、第1検出電極部・引き出し電極部と接続される。この設計により、第1絶縁層に貫通孔を設け、これを電極材料で埋め込むことなく引き出し電極部と第1検出電極部とをアイランド部を介して接続できる。製造コストを抑えつつ、導通不良の発生を抑制できる。

業務用機械

小型で長時間持続する二酸化塩素発生装置

発明の名称	二酸化塩素発生用ユニット及び二酸化塩素発生装置		
出願人/権利人	大幸薬品株式会社	発明者	松原 一喜、滝川 裕弘、田口 和彦、田浦 浩一、逆瀬川 三生、中原 弘一、加藤 大輔、曾川 甲子郎
出願日	平成28年5月31日	出願番号	2017-521943
公開番号	WO2016/194883	特許番号	6684786
法的状態	登録中		

代表図



10 二酸化塩素発生用ユニット 11 薬剤収納部 12 LEDチップ
13 操作基盤 14 薬剤 15 チューブ 16 開口部

発明の概要

二酸化塩素発生用ユニット及び二酸化塩素発生装置

特徴

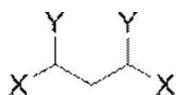
本発明の二酸化塩素発生用ユニットは、一実施形態において、薬剤収納部と少なくとも2つの光源部とが一体的に配置されており、光源部は、薬剤収納部に収納されている薬剤に対して、少なくとも2方向から光を照射することを特徴とする。二酸化塩素発生用ユニット及びユニットを備える二酸化塩素発生装置は、上記の構成をとることにより、小型でありながら、実用的に十分な量の二酸化塩素を、極めて長時間にわたって放出できるため、例えば乗物搭載用に適している。また、小型でもあるため、例えば、暖房機器、冷房機器、空気清浄器、加湿器等の空調設備に組み込むことができる。

関連分野

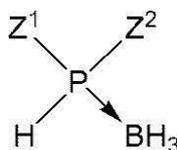
ケミカル、電気機械、医療・保健衛生

発明の名称	ボラン錯体及びその製造法		
出願人/権利人	スペラファーマ株式会社	発明者	山野 光久、山田 雅俊、臼谷 弘次
出願日	平成30年1月15日	出願番号	2018-004231
公開番号	2018-90594	特許番号	6686050
法的状態	登録中		

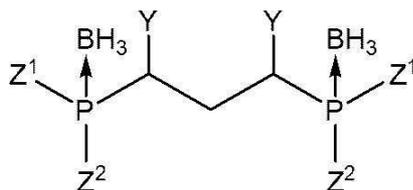
代表図(図面なし)



[式中、Xはp-トルエンスルホニルオキシ基を示し、Yはメチルを示す。]で表される化合物またはその塩と



[式中、Z¹及びZ²は同一または異なって(1)メチル基、(2)tert-ブチル基、及び(3)メキシ基から選択される1ないし2個の置換基を有してもよいフェニルを示す。]で表される化合物またはその塩をtert-ブトキシカリウムまたはtert-ブトキシナトリウムの存在下に、テトラヒドロフラン中で反応させることを特徴とする



[式中の各記号は上記と同意義である。]で表される化合物またはその塩の製造法。

発明の概要

光学活性なアミン化合物を製造するのに効果的なロジウム錯体触媒と、アミン化合物の製造方法

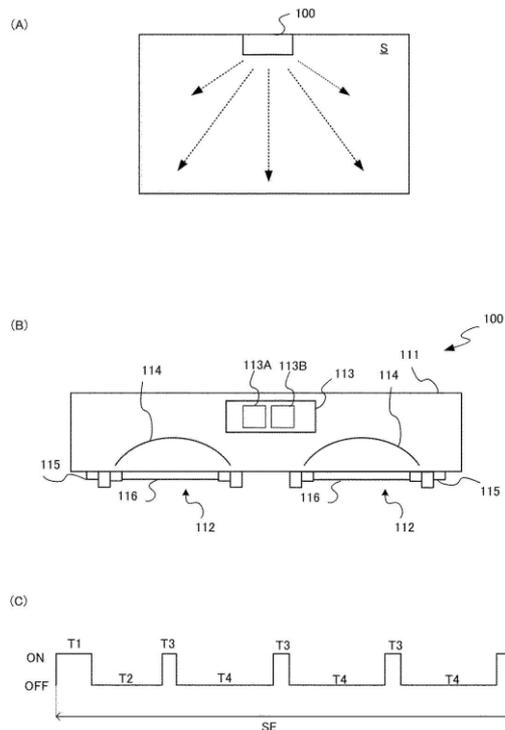
特徴

本発明は、医薬、農薬などに有用な化合物、またはその原料および中間体として用いる光学活性なアミン化合物を製造するのに効果的なロジウム錯体触媒と、アミン化合物の製造方法である。効率的なSKEWPHOS類縁体の合成法とそのロジウム錯体触媒、光学活性なアミン化合物類の製造方法と、不斉水素化反応に有利な添加剤である。本発明によるロジウム錯体触媒を不斉合成反応(特に、不斉還元)に用いることにより、目的とする絶対配置の化合物を効率的に得られる。そのため、光学活性なジホスフィン化合物を配位子とする従来の遷移金属錯体触媒に比べて優れている。

発明の名称	紫外線照射装置、紫外線照射方法、照明装置および紫外線照射システム		
出願人/権利人	サンエナジー株式会社	発明者	五関 謹秀、梅景 弘和、長尾 淳史、川端 隆司
出願日	平成30年3月29日	出願番号	2018-546715
公開番号	—	特許番号	6490318
法的状態	登録中		

代表図

- 100 紫外線照射装置
 111 ケース
 112 紫外線照射手段(低圧水銀ランプ)
 113 駆動制御手段
 113A 駆動電源
 113B 制御ユニット
 114 集光手段
 115 検知手段
 115 人感センサ
 116 阻害手段(ランプスリーブ)
 S 殺菌対象領域
 SE 一連の殺菌処理
 T1 第一の時間
 T2 第一の時間
 T3 第一の時間
 T4 第一の時間



発明の概要

紫外線照射装置、紫外線照射方法、照明装置および紫外線照射システム

特徴

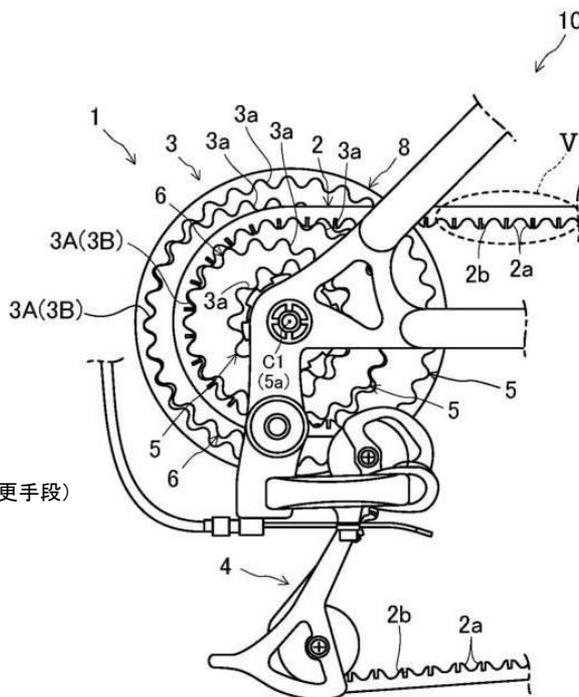
殺菌対象領域を効率よく安全に殺菌し、殺菌状態を維持することで、殺菌対象領域における設備の稼働率低下を防ぐことができる紫外線照射装置、および紫外線照射システムである。所定の主波長の紫外線を出力できる紫外線照射手段と駆動制御手段を有している。照明装置は、无影灯に限らず、処置室、無菌充てん室、動物病院で利用される照明装置や、精密機器の製造、医薬品の製造、食品加工(特に保存剤を使わない食品などの加工、無菌充填加工)等を行なうクリーンルームなどでの利用に適している。菌数管理が必要な環境における殺菌装置に利用できる。

陸上輸送機械

スムーズな変速が行える自転車用変速機構

発明の名称	自転車用変速機構		
出願人/権利人	岡田 泰一	発明者	岡田 泰一
出願日	平成31年3月1日	出願番号	2019-037600
公開番号	—	特許番号	6683977
法的状態	登録中		

代表図



- 1 自転車用変速機構
- 2 無端状ベルト
- 2a 係合爪
- 2b スリット
- 3 従動側回転体
- 3a 係合凹部
- 3A 係合凹部
- 3B 係合凹部
- 4 リアディレイラー(ベルト位置変更手段)
- 5 非偏心伝達部
- 5a 中心軸
- 6 偏心伝達部
- 8 駆動伝達部(駆動伝達手段)
- 10 自転車
- C1 回転軸心

発明の概要

変速作動時における抵抗が少なくスムーズに変速が行える低コストの自転車用変速機構

特徴

後輪に取り付けられた回転体において無端状ベルトが巻き掛かる一部領域に、中心軸が回転軸心から偏心する環状部分を設けたのが特徴である。無端状ベルトを大きく弛ませることなく自転車を変速できるので、変速作動時の抵抗が少なくスムーズな変速を行え、無端状ベルトを大きく弛ませる構造をディレイラーに設ける必要が無く低コストにできる。無端状ベルトが非偏心伝達部と偏心伝達部との間を移動する際において、各係合爪がスムーズに各係合凹部に入り込んで各係合凹部の内面に密着するので、無端状ベルトが回転体から不意に外れてしまうのを確実に防げる。

関連分野

運輸サービス